

(中学生用要項)

新潟県テニス協会会長 法龍院 充

第79回国民スポーツ大会テニス競技新潟県予選会（少年の部）

- 1 主 催 新潟県テニス協会
- 2 共 催 (公財)新潟県スポーツ協会
- 3 後 援 新潟県高等学校体育連盟
- 4 主 管 新潟県高等学校体育連盟テニス専門部
- 5 主 管 校 新潟西高等学校 協力校：新潟第一高等学校 巻高等学校
- 6 期 日 令和7年7月12日(土)・13日(日) 【予備日14日(月)】
受付 8:00～8:20 競技開始 9:00 競技終了予定 17:00
- 7 会 場 長岡市営希望が丘テニス場 長岡市西津町2150-1 TEL 0258-29-1082
- 8 競技種目 シングルス
- 9 参加資格 (1) 新潟県テニス協会から推薦された中学3年生（8名以内）
平成22(2010)年4月2日から平成23(2011)年4月1日までに生まれたもの。
(2) 県テニス協会・国スポ少年の部県選考大会ワイルドカード付与条件を満たし、
かつ下記①～②のいずれかを満たし、なおかつ新潟県テニス協会が認めた選手。
①県外からの転入者でテニス競技の成績が優れているもの。
②当該年度「北信越ジュニアテニス選手権大会」への出場権を獲得したもの。
- 10 競技規則 (公財)日本テニス協会発行「JTA TENNIS RULE BOOK 2025」に準ずる。
- 11 競技方法 8ゲームズプロセット・ノーアドバンテージ方式（8ゲームズオール後、タイブレーク）
を原則とする。
(1) 大会1日目：トーナメント戦 ベスト4決めまで。
(2) 大会2日目：ベスト4の選手で試合順を抽選し、リーグ戦を実施する。
- 12 試合球 ダンロップ・フォート
- 13 参加料 1人 2,000円
- 14 申込方法 (様式1) 第79回国民スポーツ大会テニス競技新潟県予選会（少年の部）参加申込書
件名を「国スポ予選申込」とし、下記申込先へ電子メールで添付送信する。
電子メール送信先 osawa.atsushi@nein.ed.jp
申込データの締切 令和7年6月25日(水)15時必着
(様式2) 第79回国民スポーツ大会テニス競技新潟県予選会（少年の部）申込書
※こちらが正式な申込書となりますので、印刷して選手に渡し、
中学校長の職印をもらい、下記まで郵送するようご指導願います。
郵送先（主管校） 950-2157 新潟市西区内野西が丘3丁目24番1号
新潟西高等学校 大澤 淳 宛
申込書の締切日 令和7年6月30日(月)必着
- 15 組合せ 令和7年7月1日(火)13:00～ 長岡大手高等学校 済美会館
- 16 その他 組合せ等は、県高体連テニス専門部HPにて7月7日(月)10時以降に発表する。

【参加選手用】

試合前の公式練習は8時開始予定です。その他（組合せ、練習コート割、連絡事項）については、7月7日（月）10時以降に、新潟県高体連テニス専門部HPで確認してください。

以下の、《競技上の注意》から《その他》の項目を読み、守ってください。追加・変更があれば、大会会場で連絡します。その場合は、本部からの指示を優先してください。

《競技上の注意》

1. 8ゲームズプロセット・ノーアドバンテージ方式（8ゲームズオール後、タイブレーク）を原則とする。
2. 試合の服装は、「清潔で礼儀正しい習慣的に認められているテニスウェア」とする。
3. 試合前のウォームアップはひとりサービス4本とする。
4. ポイント間は25秒以内、エンドの交代は90秒以内とする。第1ゲーム終了後の休憩は認めない。
5. メディカルタイムアウトを採用しない。選手の健康と安全に対して万全を期すため、「メディカルタイムアウトに関する基本的な考え方」に準じて対応する。【"Official Board"に掲示】
6. 選手の応援については、プレーに支障をきたすような応援は禁止する。
7. 試合中、コート外からラケット等を補充するときは、審判の許可を得ること。
8. タオルは自身のベンチに置くこと。
9. 本部の指示に従い、運営に協力すること。
10. その他詳細は、「JTA TENNIS RULE BOOK 2025」を適用する。

《試合進行について》

1. 試合は、すべてオーダーオブプレーにより進行する。
2. 試合は、敗者によるソロチェアアンパイア(SCU)方式で行う。（1R目は本部で指示する）
3. 選手は自分が試合に入るコートの後ろに待機し、試合の開始時刻または前の試合終了後、直ちにコートに試合のできる服装で入り、ただちに試合を始めること。ドロー番号の小さい方の選手が本部にボールとスコアカードを取りに行くこと。
4. ベンチはドロー番号の小さい選手が審判台からみて左側を使用すること。
5. スコアボードはドロー番号の小さい選手が上の数字を使用すること。
6. ラインの判定は、相手にはっきりと分かる声とハンドシグナルを使ってボールの着地後速やかに行う。
7. 敗者は、そのままコートに残り次の試合の審判をする。

《審判の仕方》

1. 試合の始まる前にセンターの高さを計り、両選手名を確認し試合を始める。
2. 両方または片方の選手がこない場合、本部に申し出る。
3. プレーヤーに聞こえるように「大きな声」でスコアをコールすること。
4. プレーヤーのライン判定が明らかに間違っていると判断した場合、直ちにオーバールールすること。
5. インプレー中、他コートからボールが入ってくるなどの妨害が起こった場合は「レット」とコールしてプレーを停止し、そのポイントをやり直す。
6. 試合終了後、スコアを確認し「勝者」欄に勝者よりサインをもらいボールとスコアカードを本部へ届け結果を本部に報告する。

《その他》

1. ゴミは各自が責任を持って持ち帰る。貴重品の管理等、各校で配慮すること。
2. ボールを使つての練習は、壁打ちコート、コートのまわりや駐車場では行わない。
3. 国体選手の選考については、7月13日(日)に選手選考委員会を開催する。